第３回　ロジスティクス環境会議　本会議　議事録

Ⅰ．日　時：２００５年3月１６日（水）　１４：００～１６：００

Ⅱ．場　所：東京・千代田区　ホテルニューオータニ　地下１階　おり鶴　麗の間

Ⅲ．出席者：１１０名

Ⅳ．議　案：

１）各委員会の活動計画について

(1)企画運営委員会

(2)環境パフォーマンス評価手法検討委員会

(3)源流管理による環境改善委員会

(4)省資源ロジスティクス推進委員会

(5)リバースロジスティクス調査委員会

(6)共通基盤整備委員会

２）企画運営委員会からの提案について

３）2004 年度決算（案）・2005 年度予算（案）について

４）ＪＩＬＳの今後の取り組みについて

Ｖ．開　会

角田専務理事より開会が行なわれた。

Ⅵ．張議長より、開会の挨拶が行なわれた。

Ⅶ．経過報告【資料１】

徳田事務局長より、資料に基づき、2004 年 4 月以降の活動の経過報告と循環型社会を実現するロジスティクス･グランドデザインについて説明が行なわれた後、全会一致にて承認がなされた。

Ⅶ．議事の経過

張議長の司会のもと、以下のとおり議事が進められた。

１．議　事

１）各委員会の今後の活動概要について【資料２－１～４】

以下のとおり、各委員会の委員長より、今後の活動計画案について説明がなされた。

(1)源流管理による環境改善委員会・・・・・・・小西委員長

(2)省資源ロジスティクス推進委員会・・・・・・山本委員長

(3)共通基盤整備委員会・・・・・・・・・・・・津久井委員長

(4)環境パフォーマンス評価手法検討委員会・・・増井委員長

(5)リバースロジスティクス調査委員会・・・・・菅田委員長

各委員会の説明の後、全会一致にて承認がなされた。

２）企画運営委員会からの提案について【資料３】
　2004 年度の活動を踏まえ、企画運営委員会より、提案が出され、小西副委員長より以下のとおり説明がなされた。

　現時点で特にメンバー各位への提案として、以下の４点が提示された。

(1) パフォーマンスの検証のお願い
・トラック輸配送に関する二酸化炭素排出量ついて、可能な限り３つの算定式（燃料法・燃費法・トンキロ法）を試用し、算定式毎の結果を確認する。
・算定する際のデータ収集等の課題について、具体的な課題を提示いただく。
・算定するために必要なデータ収集については、協力会社も参画できるような体制を整備していく。

(2) リバースの調査協力のお願い
・適切かつ効率的な仕組みをリバースの領域でつくっていくため、業界で共通的なプラットホームが必要なため、その課題を深堀するための調査協力をいただく。

(3) 関係行政機関との意見交換の要望の提案
・産業界と行政で情報共有するべきことについて、関係行政機関と意見交換を行う。

(4) グリーン物流パートナーシップ会議との連携
・ロジスティクス、物流に関わる企業が１社でも多く環境活動に取り組むため、環境会議の成果をグリーン物流パートナーシップ会議に提案する。

　以上 4 点の提案が提示され、ＣＧＬの成果を提案し、より多くの方に活用していただくことが、全会一致にて承認された。

３）2004 年度決算（案）・2005 年度予算（案）について【資料４－１】
　徳田事務局長より、資料に基づき、2004 年度決算（案）・2005 年度予算（案）について説明が行なわれた後、全会一致にて承認がなされた。

４）ＪＩＬＳの今後の取り組みについて【資料５】
　徳田事務局長より、資料に基づき、ＪＩＬＳの今後の取り組みについて説明が行なわれた後、「ロジスティクス環境推進センター」設置について、全会一致にて承認がなされた。

　以上をもって、第３回本会議の議事が終了し、張議長は閉会を宣した。

２．オブザーバー関係各省の施策について

会議終了後、岡部副議長の司会進行のもと、オブザーバー各省より、各省の施策について、説明がなされた。

１）経済産業省　遠山氏
商務情報政策局 流通政策課　課長補佐

２）国土交通省　小山氏
政策統括官付 貨物流通システム高度化推進調整官

３）環境省　　　小紫氏
大臣官房　廃棄物リサイクル対策部企画課 循環型社会推進室課長補

４）農林水産省　瀬戸氏
総合食料局 流通課 商業調整官

Ⅷ．閉　会

以上をもって全ての内容を終了し、角田専務理事は閉会を宣した。

以　上